

様式第1号（第2条関係）

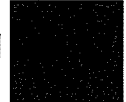
令和7年3月31日

恵那市長

小坂 喬峰 様

（恵那市議会議長経由）

恵那市議会議員 町野 道明



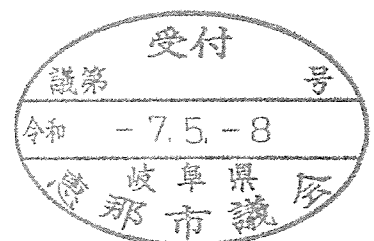
交 付 請 求 書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、下記のとおり請求します。

記

政務活動費請求金額 40,000 円

但し、令和6年12月分 ～ 令和7年3月分



様式第2号（第2条関係）

令和7年3月31日

恵那市議会議長
鵜飼 伸幸 様

恵那市議会議員 町野 道明

収 支 報 告 書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、令和6年12月分～令和7年3月分に係る政務活動費収支報告書を提出します。

記

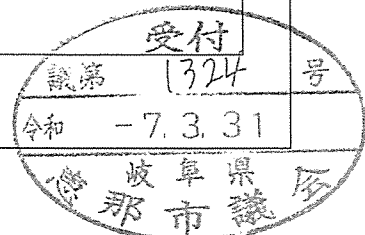
1 収 入

政務活動費 40,000 円

2 支 出

単位：円

項 目	支 出 額	備 考
調 査 研 究 費	44,008	視察費等
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
合 計	44,008	



様式第3号(手引き第4章関係)

令和6年度 恵那市議会政務活動費会計帳簿

議員名 町野 道明

(令和6年12月1日 から 令和7年3月31日 まで)

単位 (円)

日付		整理 番号	条例別表 の項目名	摘 要	領収額	政務活動費 充当額	支出可能額 (残)
2	6	3	調査研究費	2/6 宿泊費	15,200	15,200	24,800
2	7	4	〃	2/6,7 バス代金	28,808	24,800	0
合計					44,008	40,000	0

様式第5号（第5条関係）

領収書貼付用紙

年 度	令和6年度	項 目	調査研究費
整 理 番 号	3	議員名	町野 道明
支出の按分の状況	(按分の内容) 朝食代を除く宿泊費のみ計上 (16,640円-1,440円=15,200円)		
	(按分率) 100%		(政務活動費充当額) 15,200円
領収書の補足説明	2月6日～2月7日行政視察における宿泊代		
領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄			

領 収 書		No. 199231
RECEIPT		
町野道明 様		
¥ 16,640 -		
但し「宿泊代(朝食代¥1,440/宿泊税¥100含む)」として		
☐ 飲食料品等（軽減税率対象）	8% (税込・税抜) 金額	消費税額等
2025 年 2 月 13 日	10% (税込・税抜) 金額	消費税額等
上記の金額正に領収いたしました。	16540	1503
登録番号：T270015	名 称：地方職員共済	
ホテル ルポール 麹町	東京都千代田区平河町2-1-1	
TEL03-3265-5361		

支 出 伝 票

金額 15,200円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和7年3月31日

恵那市議会議員 町野 通

- 1 支 出 先 東京都千代田区平河町二丁目四番三号
 ホテルルポール麹町
- 2 支出年月日 令和7年2月13日
- 3 支出の項目 調査研究費
- 4 支出の使途 宿泊代
- 5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由

様式第5号（第5条関係）

領収書貼付用紙

年 度	令和6年度	項 目	調査研究費
整 理 番 号	4	議員名	町野 道明
支出の按分の状況	(按分の内容) 総額のうち10人で割った金額を計上 (288,080円÷10人＝28,808円) (端数切捨て)		
	(按分率) 100%		(政務活動費充当額) 28,808円
領収書の補足説明	2月6日～7日行政視察におけるバス代 (貸し切りバス代、高速料金、乗務員宿泊代)		

領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄

請 求 書 請求書№: 00005755-001-01
発 行 日: 令和6年02月13日

新政会 様
ツアー名: 東京研修会
期 間: 令和6年02月06日(木)～
令和6年02月07日(金) 1泊2日

宛先: 埼玉県知事兼県庁行務課224号
株式会社ごとく観光
〒460-0301
岐阜県中津川市龍川5223
TEL: 0573-46-3031 FAX: 0573-46-3032
代表取締役: 佐藤 加寿
担当: 渡辺 尚美
登録番号: T7200002023798

このたびは弊社をご利用いただきまして誠に
ありがとうございます。下記料金のご請求を
申し上げます。よろしくお願い致します。

合 計	お預り金額	ご請求金額
288,080円	0円	288,080円

うち消費税 26,189円 (10%対象 288,080円 消費税 26,189円)

No.	項 目	単価	数量	金額	備 考
1	貸切バス代(中型バス)	242,000	1	242,000	グンママン
2	高速料金	24,250	1	24,250	高速道路料金(大型車)
3	駐車料金	5,300	1	5,300	民間駐車場含む全行程
4	乗務員宿泊経費	13,200	1	13,200	宿泊・食事等
5	旅行取扱料金	3,300	1	3,300	

領 収 証 №: 0001836
R7 年 3 月 6 日

新政会 様

金額 円 288,080

領し / ☐ バス代金として / ☐ ツアー代金として
☐ 旅行代金として / ☐ その他

金額 消費税 26,189
10% 消費税 26,189

株式会社ごとく観光

支 出 伝 票

金額 28,808円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和7年3月31日

恵那市議会議員 町野 達

1 支 出 先 岐阜県中津川市蛭川5328
株式会社 ごとう観光

2 支出年月日 令和7年3月6日

3 支出の項目 調査研究費

4 支出の使途 2月6日～7日バス代

5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由
研修参加者10名分の領収書を代表者が受領しているため

令和7年3月31日

恵那市議会議長

鵜飼 伸幸 様

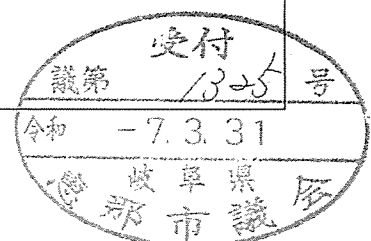
恵那市議会議員 町野

研修視察等報告書

恵那市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- 1 期 間 令和7年2月6日 ～ 令和7年2月7日
- 2 研修視察先
 - 1日目：東京都港区 株式会社フォーラムエイト
 - 2日目：東京都千代田区 衆議院議員会館
東京都港区 リニア中央新幹線品川駅工事現場
- 3 研修視察名
新政会議員を中心とした有志議員による行政視察
- 4 研修視察者
千藤安雄、後藤康司、西尾 努、太田敦之、林 貴光、
柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明（10名）
- 5 概 要
 - 1日目：株式会社フォーラムエイト視察
 - 2日目：衆議院第二議員会館にて国の官僚による政策説明
リニア中央新幹線品川駅工事現場現地視察
- 6 効 果
別添の恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書を参照ください。



令和6年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 町野 道明

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和7年2月6日 13時30分 ～ 16時00分
3. 会 場	株式会社フォーラムエイト
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、鵜飼伸幸、西尾 努、太田敦之、林 貴光、服部紀史、伊藤勝彦、柘植孝彦、渡辺武彦、町野道明
5. 参加人数	10人
6. 内容(目的)	株式会社フォーラムエイトは、FIA世界ラリー選手権日本ラウンドのオフィシャルタイトルパートナーで、恵那市の自動運転実証実験の協力企業でもあり、ソフトウェア、サービスのクラウド化によりサステナブル社会、DXの時代を推進する企業の取り組み状況などを現地視察した。
7. 効 果	会社概要と業務内容について説明を受け、主な業務は、ソフトウェアパッケージの開発を基盤とした構造物設計や土木・建築を支援するソフトウェアと技術提供設計から始まり、現在ではドローン講習などを展開している。VR(仮想)空間を使用して現実と同じ学習体験での臨場感あふれる疑似体験は、これからの働き方や学び方に革命をもたらす技術で、上手に業務に活用することで、より効率的で柔軟な対応と作業効率化、質の向上も図られることが期待される。今後、このバーチャル業務とVRシュミレーションが果たす役割がますます重要となり、住民サービスの質を向上させるだけでなく、行政の効率化にも寄与すると感じた。

令和 6 年度 恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名 町野 道明

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和 7 年 2 月 7 日 9 時 3 0 分 ～ 1 1 時 3 0 分
3. 会 場	衆議院第二議員会館 7 1 8 会議室
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、西尾 努、太田敦之、林 貴光、服部紀史、伊藤勝彦、柘植孝彦、渡辺武彦、町野道明
5. 参加人数	1 0 人
6. 内容（目的）	国の官僚から今後地方にとって重要となる以下の政策説明を受け、本市の市政に生かす。 1. 地方再生 2. 0 の今後の取組みとその活用 講師：内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局参事官補佐 佐藤祐亮 2. 地方における魅力的なまちづくりの好事例 講師：国土交通省都市局市街地整備課企画専門官 松村知樹、まちづくり推進課企画専門官 丸茂 悠、街路交通施設課課長補佐 近安規晃
7. 効 果	1. 地方再生 2. 0 の今後の取組みとその活用 石破総理の重点政策「地方創生 2. 0」で、地方こそ成長の主役として設置された新しい地方経済・生活環境創生本部が、人口減少が続く地方を守り、若者・女性にも選ばれる地方（＝楽しい地方）などの政策強化と第 2 世代交付金での国の伴走支援強化などの地域課題解決に向けた、今後 10 年間集中的に取り組む考えなどが示され参考となった。 2. 地方における魅力的なまちづくりの好事例 恵那市でも策定を進めている立地適正化計画に基づく、持続可能で強靱な都市構造へ再編を図ることを目的とする「都市構造再編集集中支援事業」と車中心から人中心の空間へと転換を図り居心地がよく歩きたくなる街中づくりを推進する「まちなかウォークアブル推進事業」、未来ビジョン策定とビジョン実現のための自立・自走型システムの構築への支援「官民連携まちなか再生推進事業」の活用について参考となった。 両講義とも国が推進している最新事業の状況や今後の展望を知る貴重な情報を得ることができた。

様式第1号(手引き第3章関係)

令和6年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 町野 道明

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和7年2月7日 14時15分 ～ 15時00分
3. 会 場	リニア中央新幹線品川駅工事現場
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、西尾 努、太田敦之、林 貴光、服部紀史、伊藤勝彦、柘植孝彦、渡辺武彦、町野道明
5. 参加人数	10人
6. 内容(目的)	着々と進むリニア中央新幹線の始発駅となる品川駅工事概要と工事現場の進捗状況を見学する。
7. 効 果	リニア中央新幹線の品川駅工事は、非常に難易度の高い工事で、稼働している東海道新幹線が走る真下の地下で駅舎工事が行われており、最新技術を駆使して、安全かつ効率的に工事が進められていた。この工事は、開削工事から始まりリニア中央新幹線品川駅の構造物となる作業空間完成後には、非開削工事が「シールド工法」で作業が進む予定とのことであった。早期の開業を目指して、慎重な監視と技術の進化が続けられており、国の重要なプロジェクトである新時代の交通機関が動き出していることを実感した。

研修察報告

1 日目 株式会社フォーラムエイト

愛知県豊田市と岐阜県恵那市で行っている世界ラリー大会にお力添えを頂いています。世界ラリー選手権フォーラムエイトラリージャパン 2025 年をタイトルパートナーとして応援して頂ける企業です。また、恵那市の自動運転実証実験の協力を頂きました。

構造物設計をはじめ土木・建築設計を支援するソフトウェア・技術サービスの提供の開発事業や貴社の事業活動は国土強靱化、安心・安全の国づくり、街づくりを実現するもと感じました。土木、陥没、空洞の監査、下水管の監査、橋梁、河川の安全性に大きな期待ができます。擁壁や盛土の監査の構造計算のためのソフトはとても良いものでした。

そんな中で、2021 年 WRC をきっかけに豊田市では、デジタルツインによる持続可能な都市の実現に向けた連携協力は効果的で豊田市の建設部門 DX の位置づけとなり、デジタルツインの早期実現に向かっています。恵那市では、自動運転 VR バス試験による市内走行がありました。

貴社の社会貢献活動では、公益国際としては、デジタル社会の推進によるデジタルを通して豊かな国づくりに貢献すること、国際 VR シンポジウムの開催、地域・文化としては、恵那市に訪問してくださり、コミュニケーションの促進を目的として、岩村城下町通りの観光・地域の活性化にお力を頂きました。教育としては、令和 5 年度厚生労働省「受講者の特性に対応した教育訓練手法の構築・普及促進事業」により無料で受講が可能となり「メタバース」「AI」「ドローン」を軸に学習や実践的演習を行っています。

2 日目 衆議院第二議員会館 718 号室

1. 地方創生 2.0 の今後の取組みとその活用
2. 地方における魅力的なまちづくりの好事例

1. 地方創生 2.0 の今後の取組みとその活用

2024 年は、地方創生の取組が始まって 10 年目となります。全国の地域では人口増加をしているところもあり、地方創生の取組の成果と言えるものがある。しかし、人口減少や東京圏への一極集中などの大きな流れを変えるには至っておらず、地方が厳しい状況です。人口減少や東京圏への過度な一極集中を是正するための対策は、国全体で戦略的に挑戦すべき課題である。小規模な自治体をはじめ、国によるきめ細やかな支援を行いつつ、国民との信頼と対話の中で、地方創生に関する国民的議論を展開していくことにより、人口減少や東京圏への一極集中等に関する認識を国民の間で広く共有しつつ、

一人の多様な幸せにつながる施策が求められ、地方創生に関する目標、その達成状況等を踏まえつつ、目標年次なども変更し政策の改善を図って地方創生を推進していく必要がある。

その意から「地方こそ成長の主役」との発想に基づき、地方がそれぞれの特性に応じた発展を遂げることができるように、日本経済成長の起爆剤としての大規模な地方創生策を講ずるため、内閣に、新しい地方経済・生活環境創生本部が設置された。今後 10 年間集中的に「基本構想」の策定にむけて議論が必要であり、都市も地方も、安心・安全で心豊かに暮らせる持続可能な地域経済社会を創るため、これまでの成果と反省を活かし、地方創生 2.0 として再起動させ、人口減少対策につなげていく。恵那市は今後の総合計画に活用していくことについて参考になった。

2. 地方における魅力的なまちづくりの好事例

デジタル田園都市国家構想交付金の活用

① デジタル実装タイプ

デジタル技術を活用し、地方の活性化行政・公的サービスの高度化・効率化を推進。

例、書かない窓口、地域アプリ、遠隔医療

② 地方創生拠点整備タイプ

観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する拠点施設の整備などを支援。

例、道の駅に隣接した観光拠点、子育て支援施設、

③ 地方創生推進タイプ

観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組などを支援。

- ・ 地方版総合戦略に位置付けられた地方創生の自主的・主体的な取組を支援(最長 5 年間)
- ・ 東京圏からの UIJ ターンの促進及び地方の担い手不足対策
- ・ 省庁の所管を越える 2 種類以上の施設(道・污水处理施設・港)の一体的な設備

2 日目 リニア中央新幹線品川駅工事現場

リニア中央新幹線の品川駅工事は、非常に難易度の高い工事で、稼働している東海道新幹線が走る真下の地下で駅舎工事が行われており、最新技術を駆使して、安全かつ効率的に工事が進められていた。この工事、開削工事から始まりリニア中央新幹線品川駅の構造物となる作業空間完成後には、非開削工事が「シールド工法」で作業が進む予定とのことであった。早期の開業を目指して、国の重要なプロジェクトである新時代の交通機関が動き出していることを実感した。名古屋駅のターミナル工事も同様の想像ができた。また、工事の公開は 2026 年までのようで工事が進んでいる。地下 13 メートルの工事現場で、近隣住民にも現場の公開などで理解を深めている。東海道新幹線の真下での公開現場は、新幹線の走行の様子も見学できた。東京発の新駅と名古屋新駅が結ばれるリニア中央新幹線の開業が 1 日も早く実現し、40 分の速さで到着すれば日本の経済効果は大きな期待できると実感した。